

(案)

倉吉市公立保育所 再編計画

令和8年●月

倉吉市

目次

第1章 計画の概要

- 1. 計画策定の背景と趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3. 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 4. 計画の対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第2章 倉吉市公立保育所の現状と課題

- 1. 統計資料等からみる倉吉市の現状・・・・・・・・・・ 4
- 2. 倉吉市の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

第3章 計画の基本方針

- 1. 公立保育所の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 2. 公立保育所の配置の基本的な考え方・・・・・・・・・・ 17

第4章 具体的な取り組み

- 1. 具体的な取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 2. 再編（統廃合）までの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

第5章 計画の推進

- 1. 計画の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

第1章 計画の概要

1. 計画策定の背景と趣旨

(1) はじめに

本市の公立保育所の再編については平成24年7月に「倉吉市公立保育園のあり方検討委員会」において協議を開始し、平成28年1月に「倉吉市公立保育所の再編計画案」、平成31年3月に「倉吉市公立保育所の役割と施設の配置に関する基本方針」を策定しました。

これに基づき、公立保育所の統廃合を実施し、このうち、西エリアの公立保育所3園（社、北谷、高城）を統合し、新たな認定こども園を設置することですすめてきましたが、令和6年12月市議会において、関連予算が実質否決されました。その後、市の内部協議を重ねる中で、本市の保育の状況は、保育人材の不足や既存の施設の維持管理に加えて、予想をはるかに上回る急速な少子化となっており、再編計画の策定時と異なる状況にあることが浮き彫りになってきました。

このような現状に鑑み、公立保育所の再編については、今一度立ち止まって、保護者、地域住民をはじめ、外部の方の意見を聞きつつ、市全体の現状を踏まえた再編計画の見直しをすることといたしました。

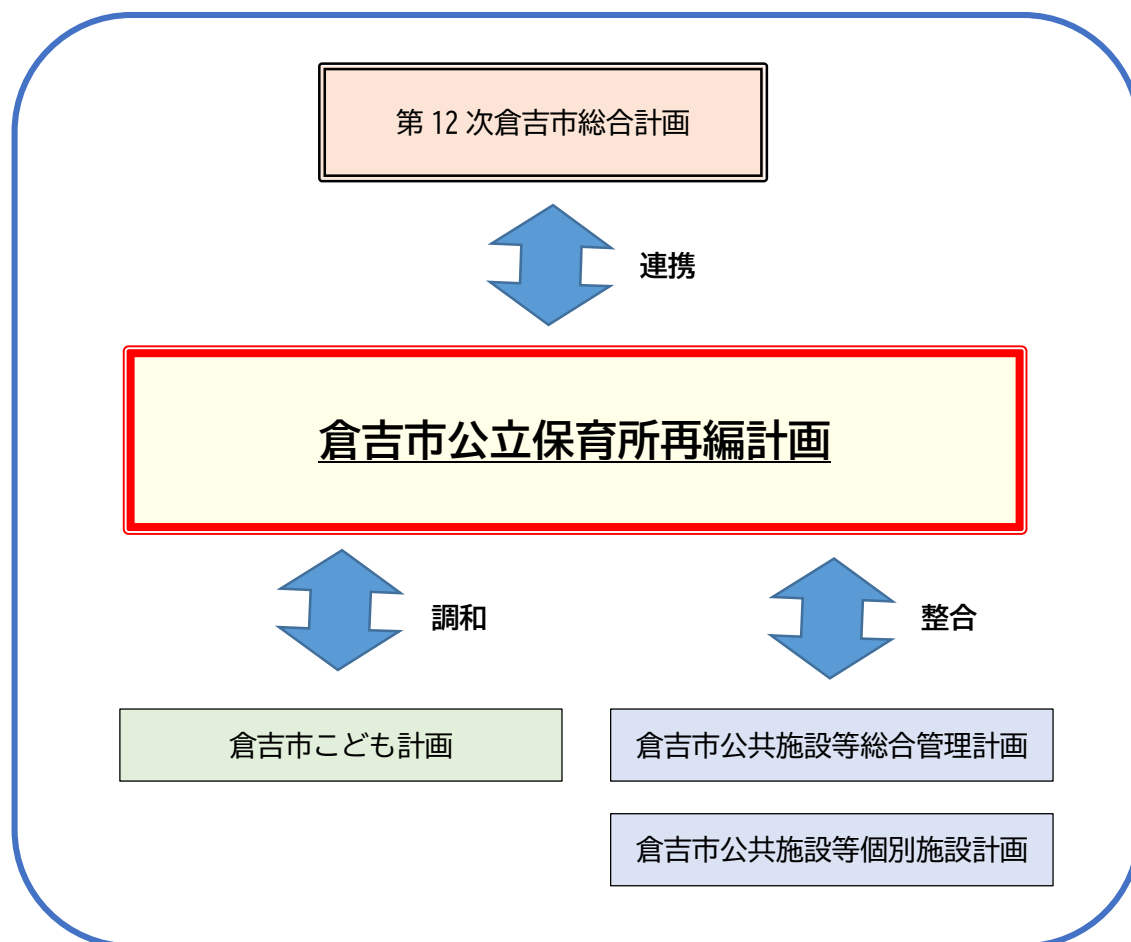
本計画は、本市の公立保育所の役割と適正な施設の配置、検討方法についての基本的な方針を示すものです。

(2) 本市の公立保育所のあり方にかかる協議等の経過

時期	内容
平成24年7月	倉吉市公立保育園のあり方検討委員会を設置
平成25年3月	倉吉市公立保育所の再編計画素案を策定
平成25年11月	関金保育園・山守保育園統合
平成26年3月	上小鴨保育園大規模改修工事
平成27年3月	西郷保育園・小鴨保育園増改築工事
平成28年1月	倉吉市公立保育所の再編計画案を策定
平成31年3月	倉吉市公立保育所の役割と施設の配置に関する基本方針を策定
令和3年3月	倉吉西保育園廃園
令和5年4月	上井保育園民営化

2. 計画の位置づけ

本計画は、倉吉市のまちづくりの最上位計画である「第12次倉吉市総合計画」に掲げられている子育て施策と連携し、「倉吉市公共施設等総合管理計画」及び「倉吉市公共施設等個別施設計画」と整合性を保つとともに、子育て支援の充実を目指す「倉吉市こども計画」とも調和させたものとしします。



3. 計画の期間

本計画の期間は、「倉吉市公共施設等個別施設計画」と整合性を保つ必要があることから、令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とします。なお、計画期間中であっても、国の動向や社会情勢等の変化を踏まえて、必要に応じて計画の見直しを行います。

4. 計画の対象

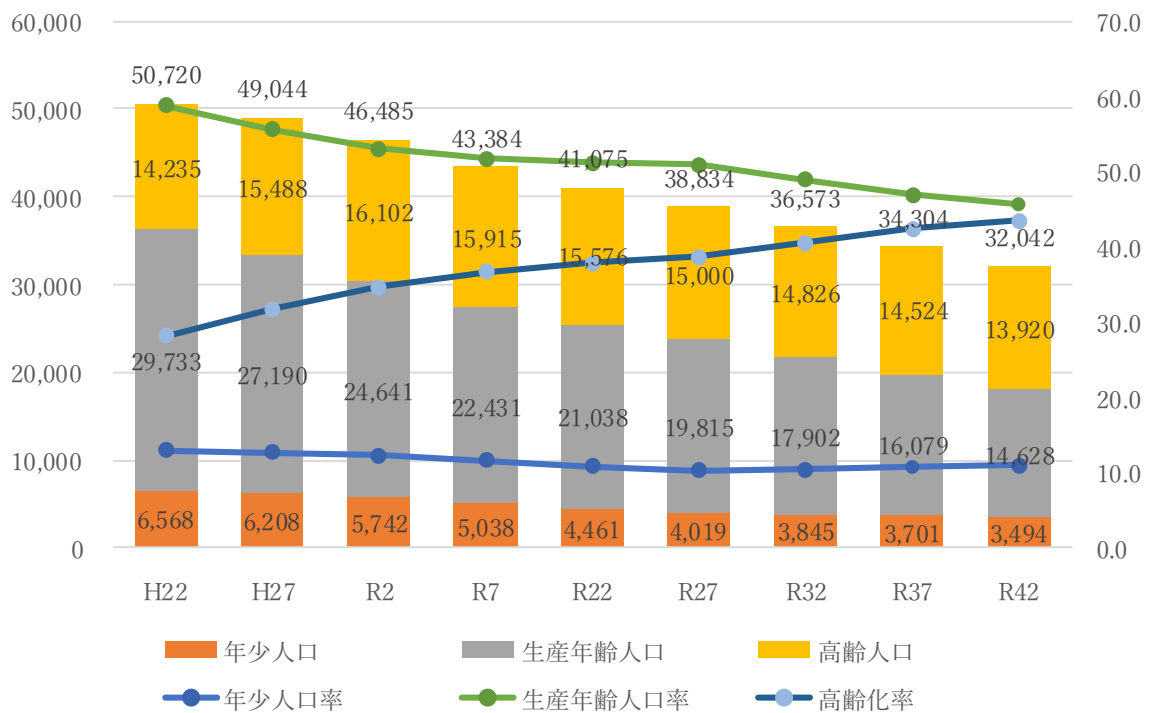
本計画の対象施設は、本市が設置する公立保育施設とします。また、計画の検討にあたっては、私立保育所、私立認定こども園などの民間運営施設の状況も考慮するものとします。

第2章 倉吉市公立保育所の現状と課題

1. 統計資料等からみる倉吉市の現状

(1) 将来の人口推計

本市の人口は減少が続き、令和27年には4万人を下回る見込みです。年少人口率は横ばい、生産年齢人口率はゆるやかに減少傾向ですが、高齢化率は上昇していくことが予想されます。

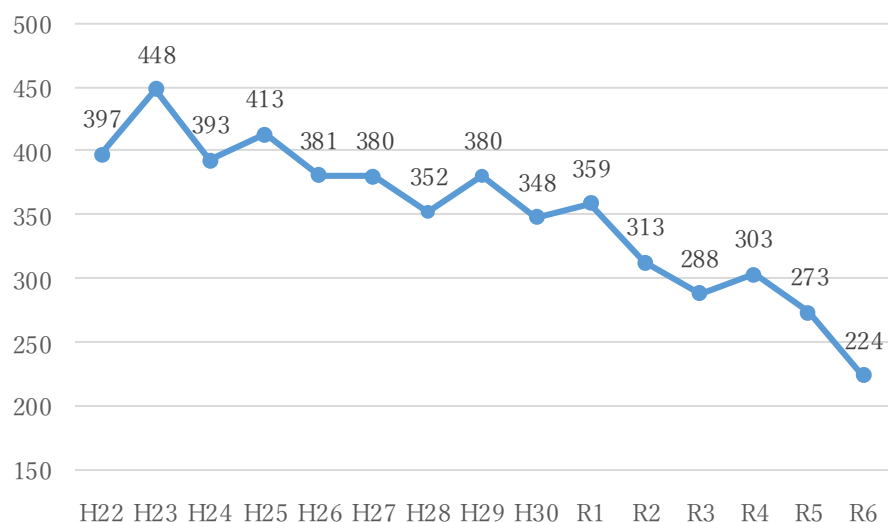


出典：令和5年地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

(2) 出生数

①倉吉市の出生数の推移

本市の出生数は減少傾向で、令和6年度は前年度と比較して49人の減少となり、近年ではもっとも大きな減少幅となりました。



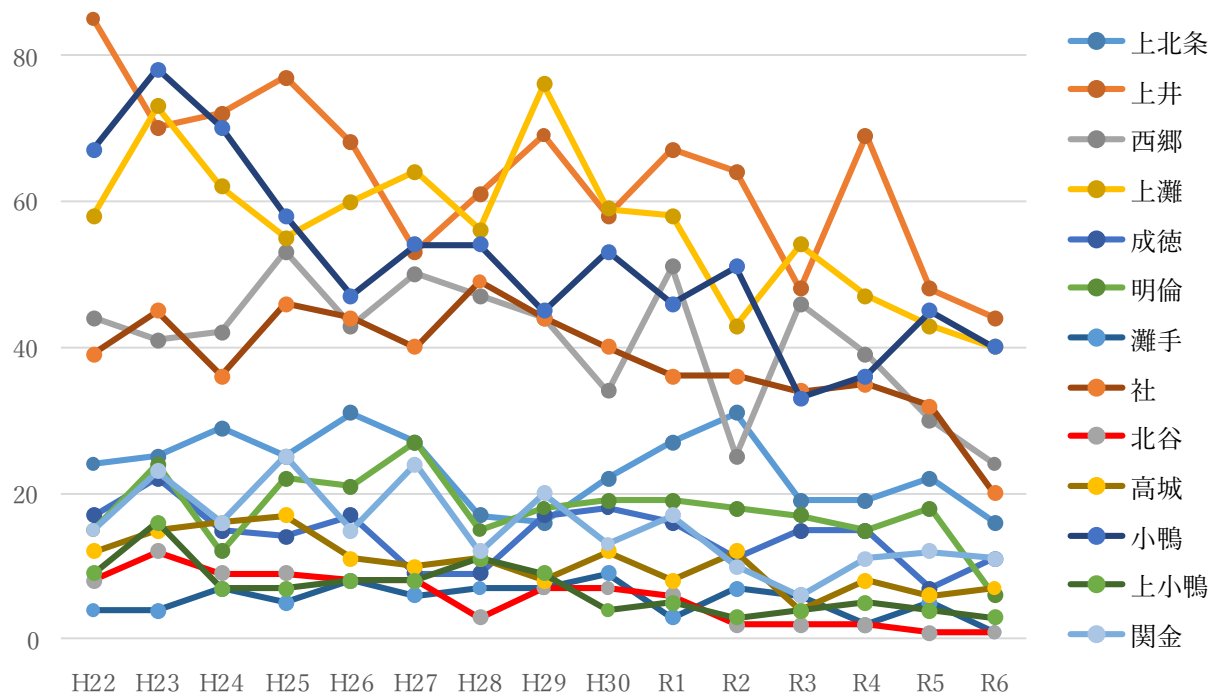
出典：人口集計

②地区別の出生数の推移

地区別の出生数をみると、令和6年度は10人を下回る地区が5地区（明倫、灘手、北谷、高城、上小鴨）あり、特に中山間地域は減少傾向にあります。

年度	上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	合計
H22	24	85	44	58	17	15	4	39	8	12	67	9	15	397
H23	25	70	41	73	22	24	4	45	12	15	78	16	23	448
H24	29	72	42	62	15	12	7	36	9	16	70	7	16	393
H25	25	77	53	55	14	22	5	46	9	17	58	7	25	413
H26	31	68	43	60	17	21	8	44	8	11	47	8	15	381
H27	27	53	50	64	9	27	6	40	8	10	54	8	24	380
H28	17	61	47	56	9	15	7	49	3	11	54	11	12	352
H29	16	69	44	76	17	18	7	44	7	8	45	9	20	380
H30	22	58	34	59	18	19	9	40	7	12	53	4	13	348
R1	27	67	51	58	16	19	3	36	6	8	46	5	17	359
R2	31	64	25	43	11	18	7	36	2	12	51	3	10	313
R3	19	48	46	54	15	17	6	34	2	4	33	4	6	288
R4	19	69	39	47	15	15	2	35	2	8	36	5	11	303
R5	22	48	30	43	7	18	5	32	1	6	45	4	12	273
R6	16	44	24	40	11	6	1	20	1	7	40	3	11	224

第2章 倉吉市公立保育所の現状と課題



出典：人口集計

(3) 本市の施設の現状

令和7年4月時点の本市の施設数は、公立保育所が8施設、私立保育所が10施設、私立認定こども園が6施設、計24施設あります。

	施設名	区分	定員	住所	地区
1	西郷保育園	公立保育所	80	下余戸 129-1	西郷
2	社保育園	公立保育所	80	国分寺 342-11	社
3	北谷保育園	公立保育所	45	沢谷 289-1	北谷
4	上小鴨保育園	公立保育所	60	鴨河内 1731-1	上小鴨
5	灘手保育園	公立保育所	45	尾原 500-15	灘手
6	小鴨保育園	公立保育所	90	中河原 551-1	小鴨
7	高城保育園	公立保育所	90	上福田 1104	高城
8	関金保育園	公立保育所	90	関金町関金宿 2830-2	関金
1	上北条保育園	私立保育所	80	新田 360-1	上北条
2	上井保育園	私立保育所	75	福庭町 2 丁目 152	上井
3	ババール園	私立保育所	90	山根 425-3	西郷
4	あゆみ保育園	私立保育所	50	海田西町 2 丁目 251	上井
5	うつぶき保育園	私立保育所	90	東昭和町 177-1	上灘
6	めぐみ保育園	私立保育所	25	仲ノ町 742-2	成徳
7	ひまわり保育園	私立保育所	60	余戸谷町 2971-7	明倫
8	向山保育園	私立保育所	60	和田東町 917	社
9	みのり保育園	私立保育所	80	西福守町 594	社
10	西倉吉保育園	私立保育所	70	西倉吉町 2-23	小鴨
1	鳥取短期大学附属こども園	認定こども園	135	福庭 854	上井
2	倉吉東こども園	認定こども園	110	上井 781-1	西郷
3	どんぐりこども園	認定こども園	110	上灘町 41-1	上灘
4	倉吉愛児園	認定こども園	90	東町 342	成徳
5	倉吉幼稚園	認定こども園	134	仲ノ町 742-1	成徳
6	聖テレジアこども園	認定こども園	95	福吉町 1376-6	明倫

※令和7年4月1日時点

(4) 近年の施設数の推移等

①施設数の推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
公立保育所	10	10	10	10	10	9	9	8	8	8
私立保育所	12	12	12	11	10	10	10	11	10	10
認定こども園	4	4	4	5	6	6	6	6	6	6
計	26	26	26	26	26	25	25	25	24	24

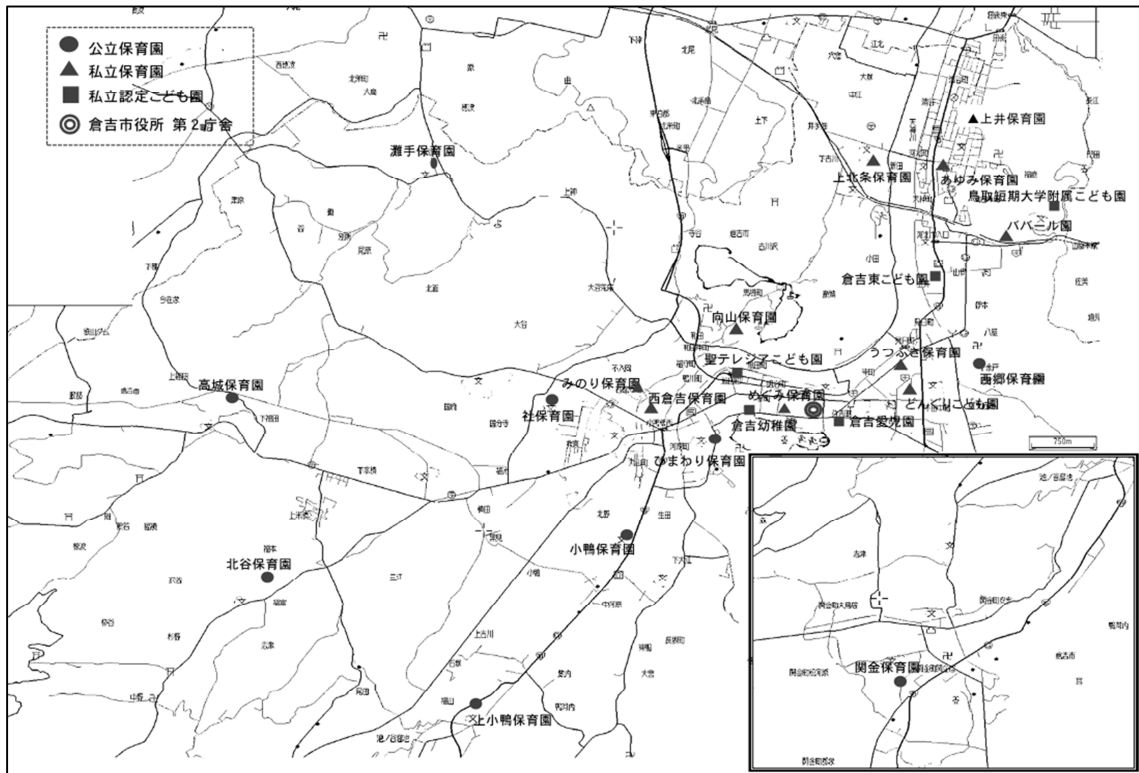
※各年度4月1日時点

※R6.3.31 ひかり保育園（私立）廃園
 ※R5.4.1 上井保育園を民営化（公立⇒私立）
 ※R3.3.31 倉吉西保育園（公立）廃園
 ※R2.4.1 どんぐり保育園（私立）認定こども園へ移行

②公立保育所の近年の統廃合等の状況

年月日	保育所名	内容
平成25年11月5日	山守保育園	関金保育園へ統合
平成30年4月1日	上井保育園	指定管理
令和3年3月31日	倉吉西保育園	廃園
令和5年4月1日	上井保育園	民営化（公立保育所⇒私立保育所）

(5) 市内の保育所・認定こども園の位置図

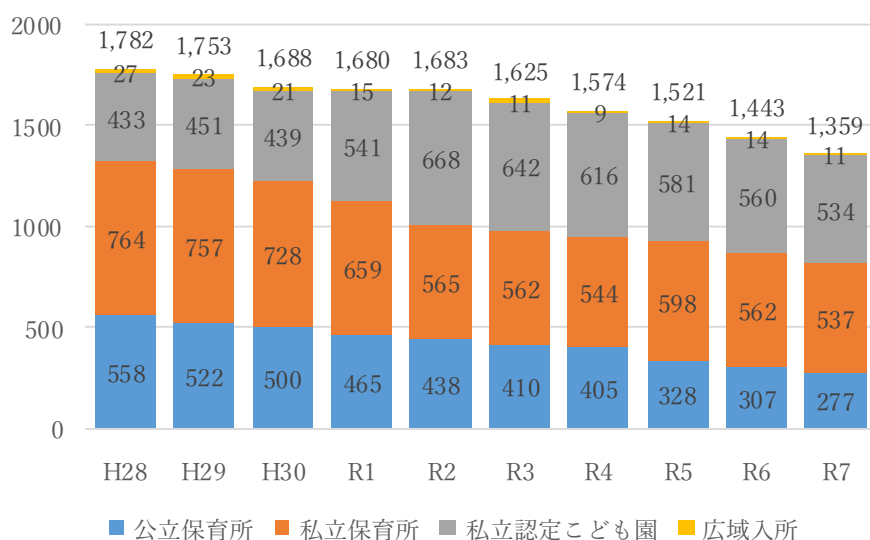


(6) 保育所等の利用状況

①入所児童数の推移（保育所等別）

入所児童数は公立保育所、私立保育所、私立認定こども園ともに減少傾向です。

※私立保育所から認定こども園へ移行したことにより認定こども園の児童数が増加した年度があります。



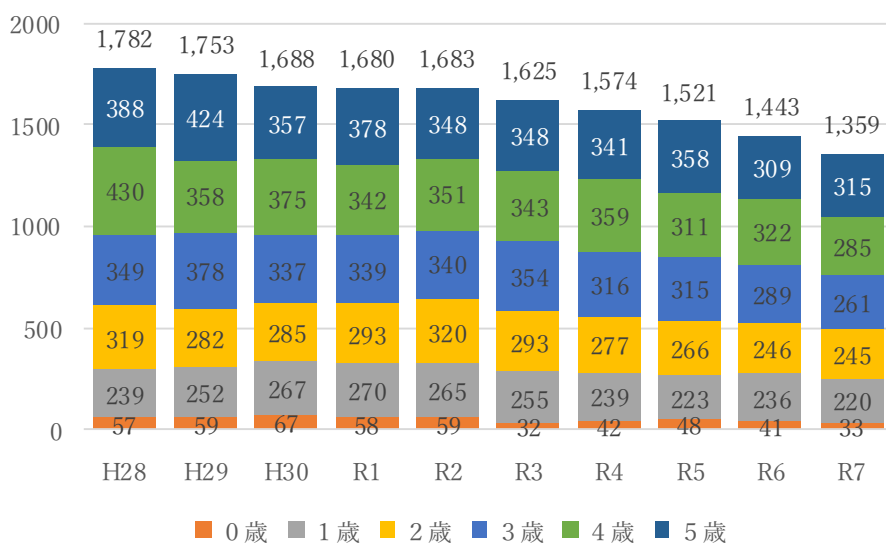
※各年度4月1日時点

出典：こども支援課

※市外広域入所（市外から市内の保育所に通所している児童）は除く

②入所児童数の推移（年齢別）

年齢別でみると、一部の年齢で増加に転じた年もありますが、全体的に減少傾向です。

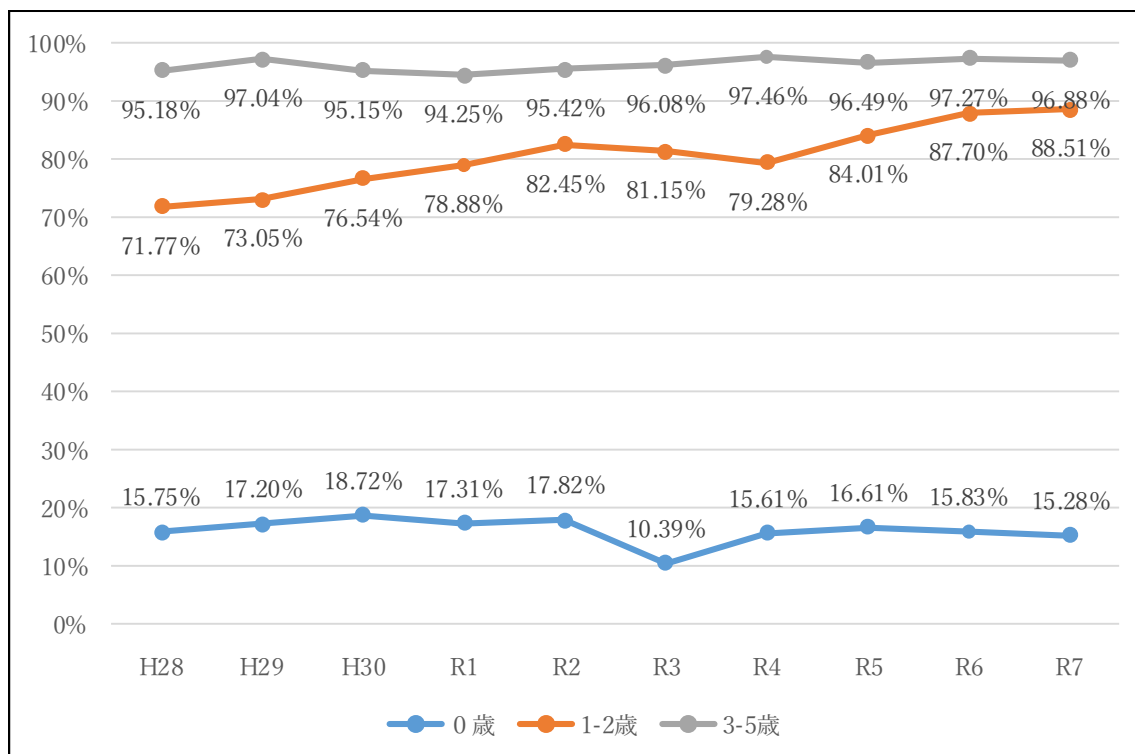


※各年度4月1日時点

出典：こども支援課

③就園率の推移

就園率は0歳と3歳から5歳まではほぼ横ばいで推移しますが、1歳から2歳は上昇傾向です。



※各年4月1日時点就園児童数/各年3月末時点人口

出典：こども支援課

(7) 公立保育所の入所の状況

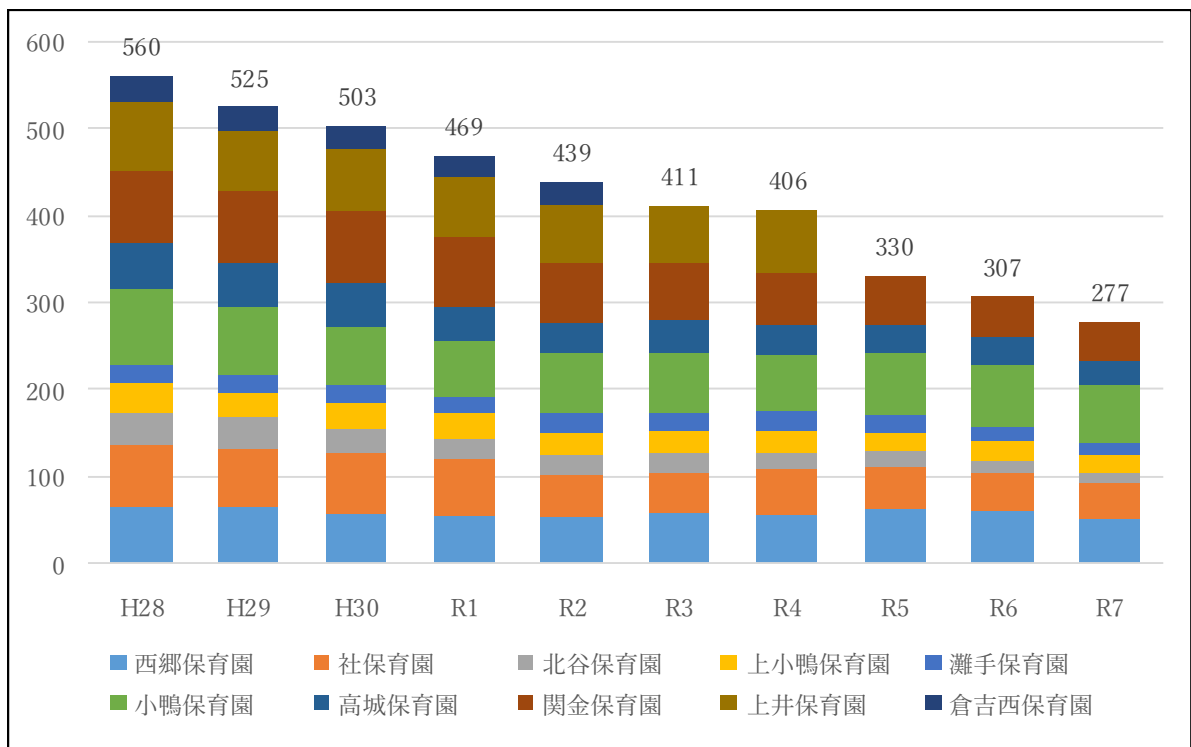
①入所児童数の推移

市内の公立保育所の入所児童数は年々減少傾向です。保育所の入所定員に対する入所児童数の割合を示す入所率も減少傾向で、令和7年度に50%を下回り、47.8%となりました。

(人)

施設名	小学校区	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
西郷保育園	西郷	66	66	59	56	54	59	57	62	61	51
社保保育園	社	70	67	69	64	48	46	52	50	43	42
北谷保育園	久米	38	36	28	24	23	22	18	17	13	12
上小鴨保育園	小鴨	34	28	30	29	26	25	26	21	23	19
灘手保育園	打吹	21	21	19	19	23	22	22	21	18	15
小鴨保育園	小鴨	87	77	68	64	68	69	66	71	71	66
高城保育園	久米	53	50	51	39	36	37	34	33	31	29
関金保育園	関金	82	84	81	82	68	65	60	55	47	43
上井保育園	河北	78	68	73	67	67	66	71	-	-	-
倉吉西保育園	明倫	31	28	25	25	26	-	-	-	-	-
小計（公立）		560	525	503	469	439	411	406	330	307	277
入所率		78.32%	73.43%	70.35%	65.59%	61.40%	62.75%	61.98%	56.90%	52.93%	47.76%

※各年度4月1日時点



②年齢別の入所児童数

令和7年4月1日時点の各保育所の年齢別児童数は、5歳児が72人でもっとも多く、次いで4歳児が56人となっています。保育園所で見ると小鴨保育園がもっとも多く、次いで西郷保育園となっています。

(人)

	施設名	児童数						
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1	西郷保育園	1	6	9	13	7	15	51
2	社保育園	1	8	9	6	9	9	42
3	北谷保育園	1	1	1	2	4	3	12
4	上小鴨保育園	0	3	4	5	2	5	19
5	灘手保育園	0	3	2	1	5	4	15
6	小鴨保育園	2	11	15	11	12	15	66
7	高城保育園	1	4	5	3	7	9	29
8	関金保育園	1	8	7	5	10	12	43
	合計	7	44	52	46	56	72	277

※令和7年4月1日時点

(8) 公立保育所の施設の状況

公立保育所のうち6施設が建築から40年以上が経過しています。「倉吉市公共施設等個別施設計画」(令和3年3月策定(令和7年3月改定))において、更新検討時期を定めているところですが、毎年、定期点検を実施し、必要な修繕を実施しています。

	施設名	建築年度	築年数	棟数	延床面積	更新検討時期
1	西郷保育園	1986年	38年	1	594 m ²	R8-9 改修/長寿命化
2	社保育園	1975年	49年	1	468 m ²	-
3	北谷保育園	1977年	47年	1	375 m ²	-
4	上小鴨保育園	1981年	43年	1	481 m ²	R4-5 改修/長寿命化
5	灘手保育園	1986年	38年	1	361 m ²	-
6	小鴨保育園	1983年	41年	1	616 m ²	-
7	高城保育園	1982年	42年	1	580 m ²	-
8	関金保育園	1983年	41年	2	840 m ²	R5-6 改修/長寿命化

(9) 保育士の配置状況

公立保育所の保育士の配置状況は、正職員33人、会計年度任用職員51.5人となっており、会計年度任用職員は保育士全体の61パーセントを占めています。

(人)

	施設名	園長	正職員	会計年度職員	合計	定員
1	西郷保育園	1	5	10.8	16.8	80
2	社保育園	1	4	6.8	11.8	80
3	北谷保育園	1	3	3.2	7.2	45
4	上小鴨保育園	1	3	4	8	60
5	灘手保育園	1	3	2.9	6.9	45
6	小鴨保育園	1	7	9.8	17.8	90
7	高城保育園	1	4	5.8	10.8	90
8	関金保育園	1	4	8.2	13.2	90
	計	8	33	51.5	92.5	580

※令和7年4月1日時点

※常勤換算人数

【参考】民間保育施設の保育士の人数

(人)

	正規	非正規	合計	定員
私立保育所	105	32.7	137.7	680
認定こども園	112	24.7	136.7	674

※令和7年4月1日時点

【参考】公立保育所の児童数と保育士の配置基準・保育士数の比較

現在の保育士の配置状況は、国の示す保育士の配置基準を満たしています。

(人)

	施設名	配置基準等に基づく 必要な職員の数				現在の職員数				
		基準 保育士数 a	園長 b	調理員 c	計 a+b+c	現在の保育士数		園長 e	調理員 f	計 d+e+f
						常勤換算	実人数 d			
1	西郷保育園	15	1	3	19	15.8	19	1	3	23
2	社保保育園	9	1	2	12	10.8	12	1	2	15
3	北谷保育園	6	1	2	9	6.2	7	1	2	10
4	上小鴨保育園	6	1	2	9	7	8	1	2	11
5	灘手保育園	5	1	2	8	5.9	7	1	2	10
6	小鴨保育園	16	1	3	20	16.8	19	1	3	23
7	高城保育園	9	1	2	12	9.8	11	1	2	14
8	関金保育園	12	1	2	15	12.2	14	1	2	17

※令和7年4月1日時点

※基準保育士数は、年齢別の子ども数に対する基準保育士数の合計（子どもの数が少ない場合は、保育士の数を1人役以下で計算）に、加配保育士（障がいのある子ども等に配置する保育士）、代替要員（年次休暇代替として配置する保育士）の人数を足し上げて算出された値です。

※現在の保育士の実人数は、短時間勤務（パートタイム）の職員を含めた人数です。

<法律に定められる保育士1人あたりの子どもの数>

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第33条

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
児童数	3	4.5	6	15	25	25

※1歳児については、国の基準は6人ですが、本市は「鳥取県低年齢児受入施設保育士等特別配置基準」を適用しています。

2. 倉吉市の課題

(1) 児童数の急速な減少

本市の出生数は令和6年度に224人となり、前年度から49人の減少となりました。今後の減少幅の見通しが困難な状況にある中、特に中山間地域の公立保育所については、市が担うべき役割として、適切な施設配置を図っていく必要があります。

(2) 保育施設の老朽化

本市の保育施設は、建築から40年以上が経過しており、躯体そのものは問題ないものの、設備の修繕等を計画的に進めていく必要があります。修繕等を行うにあたっては、修繕時期が集中しないように、予算の平準化を図りながら、子どもたちが安全・安心に過ごすことができるように、保育環境に適した整備を行っていくことが求められます。

(3) 保育士の確保

本市の保育人材は慢性的に不足している状況であり、保育士の確保に苦慮しているところ です。延長保育の対応や勤務ローテーションの確保など、安定的な保育体制を維持するため、保育士の適切な人員配置を行うとともに、保育士の担い手不足の解消に向けた取り組みが必要です。

第3章 計画の基本方針

1. 公立保育所の役割

(1) 地域における子育て支援の拠点

地域における子育て支援の中心的な役割を担うため、地域子育て支援センターにおいて、子育てに関する相談等の支援を行います。

(2) 特別な支援が必要な児童等への支援

様々な事情により、配慮や支援が必要な児童を積極的に受け入れます。

(3) 中山間地域の保育ニーズへの対応

児童数が少ない地域における保育ニーズに対して、公立保育所の提供体制の確保を原則としつつ、民間施設等の地域資源の有効活用を視野に入れて対応します。

(4) 保育における質の向上

指導監督、助言等を行うことで、高い専門性を有した保育士を育成していきます。また、発達過程の児童が、集団の中で、豊かな人間性を育むことができる環境を整備します。

2. 公立保育所の配置の基本的な考え方

民間保育施設を含めた市域全体の保育行政の視点により、民間保育施設の運営についても十分な配慮をしつつ、公立保育所の役割、出生数の状況、広域入所の状況、保育の効率性等の視点等を踏まえ、中・長期的な視野により公立保育所の配置を決定していきます。

その際、公立保育所の整理統合は、当該公立保育所に通う子どもの数が、数年後には一定人数未満(※)となることが見込まれ、且つ混合クラス（年齢の異なる子どもを一緒に保育すること）の設置が見込まれる場合に検討を開始することとします。

また、保育施設の更新は、施設の老朽化状況等を総合的に判断し、既存施設の改修等を行うことを基本としますが、統合新設が有効であると判断される場合は、必要最小限の規模での施設整備を検討します。

(※) 検討開始の目安となる入所児童数 : 20人未満

児童福祉法第39条において、保育所の利用定員は20人以上と定められていることから、再編検討の目安となる入所児童数を20人未満とします。

第4章 具体的な取組み

1. 具体的な取組み

今後の入所児童数の推計と基本方針を踏まえ、各公立保育所の具体的な取組みの目安は以下の表のとおりですが、当該時期に整備等を行うことを確定したものではありません。保護者や地域との協議の状況や市の財政事情などを踏まえ、丁寧かつ慎重に検討を進めていきます。

	施設名	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R20	R25	具体案
1	西郷保育園											継続。児童数をみながら検討開始。
2	社保保育園											継続。
3	灘手保育園	検討			社で合同保育					社で合同保育		R11から社で合同保育
4	北谷保育園	高城で合同保育										R8から高城と合同保育。
5	高城保育園						検討					R13から検討開始。社と合同保育。
6	小鴨保育園				小鴨で合同保育							継続
7	上小鴨保育園	検討										R11から小鴨で合同保育
8	関金保育園											継続。児童数をみながら検討開始。

※本計画の期間は令和12年度までとしていますが、十分な検討期間を確保することから、令和13年度以降についても取組みの目安を記載します。

※検討を行う際は、保護者や地域等との意見交換を丁寧に行うなど、適切な協議期間を設けます。

<前計画等からの変更点>

平成31年3月に策定した「倉吉市公立保育所の役割と施設の配置に関する基本方針」においては、西エリアの社、北谷、高城、灘手の受入施設として2施設を整備することとし、この方針に基づき、社、北谷、高城において1施設を新設することとしていましたが、該当する4園の推計児童数は令和20年度に29人、令和25年度に21人になることが予想され、新たな保育施設を新設しても、短期間で「2. 公立保育所の配置の基本的な考え方」の一定人数未滿に近くなることから、新設については慎重な検討が必要となるため、既存施設の改修等による合同保育の実施を基本とします。

【参考】具体的な取り組みの根拠

各公立保育所の入所児童数の推計の算出にあたっては、①倉吉市こども計画（令和8年3月策定）で算出した今後の児童数の推計に、②今後の就園率（年齢別及び公立・民間別）を勘案し、③公立保育所の推計入所児童数を算出した値に、直近の各保育所の児童数の割合に応じて算出したものです。

算出の過程において、公立と民間の就園割合は、過去の実績から公立保育所より民間保育施設に就園する割合が高くなっていることを考慮し、今後においても同様の傾向が続くことを見込んでいます。また各公立保育所の入園割合は、園によって増減があることを考慮しています。

民間保育施設の状況によって、今後、この推計値を上回る減少値になる可能性があります。

①児童数の推計

児童数の推計値は「倉吉市こども計画（令和8年3月策定）」において算出した値（R7～R11）に、同計画と同じ方法（コーホート変化率法）で算出した令和12年度～令和25年度の推計値を加えたものです。

区分	単位	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R20	R25
0歳	人	217	209	202	199	196	193	192	191	191	185	173
1歳	人	260	213	205	198	196	192	190	186	188	181	172
2歳	人	273	247	203	195	189	186	183	180	177	175	167
3歳	人	266	274	248	203	196	189	187	184	181	176	170
4歳	人	300	263	270	245	201	193	187	184	181	176	169
5歳	人	320	292	255	263	238	195	188	182	179	172	166
合計	人	1,636	1,498	1,384	1,304	1,215	1,149	1,126	1,108	1,098	1,066	1,017

※各年度4月1日時点（R7は実績値）

※コーホート変化率法は、同時に出生した集団の、ある期間の人口の変化を捉えることで将来人口を推計する手法です。

※令和16年度以降は5年ごとに表記しています。

②就園率・就園割合

年齢別及び公立・民間別の就園率の実績です。

	R3	R4	R5	R6	R7
0歳	10.53%	15.38%	16.27%	15.47%	15.21%
1-2歳	81.76%	79.28%	83.77%	87.53%	87.18%
3-5歳	96.06%	96.01%	95.62%	96.01%	97.19%

	R3	R4	R5	R6	R7
公立	19.88%	20.44%	17.20%	17.30%	16.93%
民間	58.39%	58.56%	61.82%	63.21%	65.46%

公立・民間別の就園割合の推計です。過去の実績から、今後も民間の割合が高くなることを見込んで算出しています。

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R20	R25
公立	20.55%	19.66%	18.80%	17.98%	17.20%	16.45%	15.74%	15.05%	14.40%	11.53%	9.23%
民間	79.45%	80.34%	81.20%	82.02%	82.80%	83.55%	84.26%	84.95%	85.60%	88.47%	90.77%

※各年度4月1日時点

③公立保育所の入所児童数の推計

児童数の推計値に、直近の年齢別及び公立保育所の就園率を勘案して算出した公立保育所の推計入所児童数を、各公立保育所の入所割合に応じて算出したものです。

施設名	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R20	R25
西郷保育園	51	45	39	35	31	28	26	25	23	18	14
社保保育園	42	37	32	29	26	23	21	20	19	14	9
灘手保育園	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	1
北谷保育園	12	10	9	8	7	6	5	5	4	3	2
高城保育園	29	26	23	21	18	16	15	15	14	11	9
小鴨保育園	66	60	54	50	45	42	40	38	37	32	24
上小鴨保育園	19	16	13	11	9	7	6	5	4	1	1
関金保育園	43	38	34	31	28	25	24	23	22	18	15
合計	277	244	214	192	169	152	142	133	126	98	75
民間保育施設 (16施設)	1,071	995	925	874	813	770	759	751	748	751	738

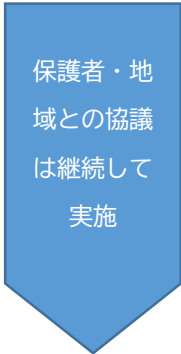
※北谷保育園については、R8年度から高城保育園との合同保育が決定していますが、参考として北谷保育園単独で記載しています。

※小数点以下を四捨五入して算出していますので、合計値と合わない箇所があります。

2. 再編（統廃合）までの流れ

公立保育所の再編までは、以下の流れを基本とします。

- (1) 「公立保育所の配置の基本的な考え方」に基づき、検討対象の施設を決定
- (2) 保護者説明会の実施
- (3) 地域への説明会の実施
- (4) 保護者・地域との合意形成
- (5) 再編（統廃合）の実施



保護者・地
域との協議
は継続して
実施

第5章 計画の推進

1. 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、「倉吉市子ども・子育て会議」において、進捗を報告し、意見を伺うこととします。

また、本計画は、国の動向や社会情勢の変化などを注視し、計画期間中であっても必要に応じて、計画の見直しを実施します。

倉吉市公立保育所再編計画

発 行/令和8年3月

発行者/倉吉市健康福祉部子育て支援局こども支援課

住所：682-8633 鳥取県倉吉市堺町2丁目253番地1 倉吉市役所第2庁舎

電話：0858-22-8100

FAX：0858-22-8135